

注3

大学番号：私040

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

足利工業大学大学 看護学部 看護学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人足利工業大学

平成28年5月1日現在

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 足利工業大学

(2) 大学名

足利工業大学

(3) 大学の位置

〒326-8558

栃木県足利市大前町268番地の1 大前キャンパス

〒326-0808

栃木県足利市本城3丁目2120番地 本城キャンパス

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オカヒラゴロウ) 岡平悟朗 (平成10年12月)	(ウヤマイズミ) 牛山泉 (平成26年2月) (平成28年4月)	一身上の都合により辞任 平成26年2月18日(26) 再任平成28年4月1日(28)
学長	(ウヤマイズミ) 牛山泉 (平成20年4月)	(ショウジカズオ) 莊司和男 (平成28年4月)	一身上の都合により辞任 平成28年3月31日(28)
学部長	(ヤマカドミノル) 山門實 (平成26年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	3人 年次人	326人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成26年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 () []		80人 () []		80人 (3) []		80人 (3) []		1.26倍	
志願者数	277 () []		235 () []		217 (1) [0]					
受験者数	261 () []		227 () []		209 (1) [0]					
合格者数	112 () []		129 () []		148 (1) [0]					
B 入学者数	83 () []		78 () []		89 (1) [0]					
入学定員超過率 B/A	1.03		0.97		1.08					

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[] () 83	[] ()	[] () 78	[] ()	[-] (1) 90	[] ()	[] ()	[] ()		
2年次	/		[] () 82	[] ()	[-] (2) 79	[] ()	[] ()	[] ()		
3年次			/		[] ()	[] ()	[-] (-) 81	[] ()	[] ()	
4年次					/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[] () 83	[] () 160			[-] (3) 250	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	83 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1)	1.2 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	78 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	89 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		0 %
合 計	250 人	1 人					0.4 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間の理解と科学的思考科目群	人文・社会科学	仏教学	1前	1								兼1	兼任講師の経験・業績不足が解消された事により1名に変更(28) 文科省教職員課の指導により、兼任講師を追加し、オムニバス形式に変更。 後期移動は兼任講師の都合による(26)
		論理学	1前		1							兼1	
		倫理学	1前	1								兼1	
		心理学	1前	1								兼1	
		日本国憲法	1前	2								兼1	
		発達心理学	1後 1前		2							兼1	
		環境と社会	1前		1							兼1	
	自然科学	数学	1前	1								兼1	
		化学	1前		1							兼1	
		生物学	1前		1							兼1	
		物理学	1前		1							兼1	
		情報科学 I	1前		1							兼1	
	外国語	情報科学 II	1後	2								兼1	
		基礎英語	1前	1								兼1	
		医療英語 I	1後	1								兼1	
		医療英語 II	4前		1							兼1	
		英会話コミュニケーション	4後		1							兼1	
		ドイツ語入門	4後		1							兼1	
		韓国語入門	4後		1							兼1	
	スポーツ	健康スポーツ I	1前	1								兼1 集中	
		健康スポーツ II	1後	1								兼1 集中	
	基礎ゼミナール	基礎ゼミナール I	1前	1			6 5	6 7	2 1 2 3	6 4 5		准教授1名退職 助教から講師に昇格1名、助教1名採用(28) 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定可 担当 島田葉子(助教) 平成27年7月 教員審査済 判定可 教授2名・助教3名採用、教授1名工学部専任、講師1名就任辞退・助教1名辞任(27) 担当 山下美根子(教授) 平成26年10月教員審査済 判定可 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定可 担当 宮武陽子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定可 担当 齊藤利恵子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定可 担当 渡邊いよ子(助教) 平成27年2月教員審査済 判定可 講師1名・助教1名就任辞退(26)	
		基礎ゼミナール II	1後	1			6 5	6 7	2 1 2 3	6 4 5	准教授1名退職 助教から講師に昇格1名、助教1名採用(28) 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定可 担当 島田葉子(助教) 平成27年7月 教員審査済 判定可 教授2名・助教3名採用、教授1名工学部専任、講師1名就任辞退・助教1名辞任(27) 担当 山下美根子(教授) 平成26年10月教員審査済 判定可 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定可 担当 宮武陽子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定可 担当 齊藤利恵子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定可 担当 渡邊いよ子(助教) 平成27年2月教員審査済 判定可 講師1名・助教1名就任辞退(26)		
小計(23科目)		—	14	12	0	6 5	6 7	2 1 2 3	6 4 5	0	兼18 兼17		

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門基礎科目群	医療概論	1前	1			1								
	人体の構造と機能 I	1前	2			1						兼1	演習科目強化のため兼任教員を追加した(26)	
	人体の構造と機能 II	1前	2			1						兼1	演習科目強化のため兼任教員を追加した(26)	
	栄養学	1後	2									兼1		
	微生物学	1後	1			1								
	病理学	1後	1									兼1		
	臨床薬理学	2前	1									兼1		
	臨床医学 I	1後	2									兼1		
	臨床医学 II	1後	1									兼1		
	臨床医学 III	1後	1									兼1		
	臨床医学 IV	2前	1									兼2	演習科目強化のため兼任教員を追加した(27)	
	臨床医学 V	2前	1									兼1		
	臨床医学 VI	2前	1									兼1		
	精神保健	1後		2								兼1		
	臨床心理学	1後		1								兼1		
	看護人間工学	1前		1		1								
	医用工学の基礎	3後		1								兼1	A C教員審査による変更担当 杉原喜代美(教授) 平成26年2月教員審査済 判定 可	
	医用工学演習	4前		1								兼1		
	公衆衛生学	2後	2			1								
	衛生学	2後		2								兼1		
	疫学	3前	2				1		1				兼1	教員の就任辞退による担当者見直し(28) 担当 山門 貴(教授) 平成28年1月 教員審査済 判定 可
	保健医療統計学	2後	2						0 1			兼1	後任未定(27) 兼任教員が担当(28)	
	保健医療福祉行政論	2後	2									兼2 兼1	科目強化のため教員補充(28)	
小計(23科目)		—	25	8	0	3 2	0	0 1	0	0	兼18 兼17 兼16 兼15			
看護専門科目群	看護学概論	1前	2				0 1						准教授1名退職による担当者見直し 平成28年4月准教授1名教員審査中(28)	
	基礎看護方法論 I	1通	2				1	1		1 2 1 2			助教から講師に昇格1名 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 教員の退職や就任による担当者見直し (27) 担当 齊藤利恵子 (助教) 平成26年 10月教員審査済 判定 可 助教 1名就任辞退(26)	
	基礎看護方法論 II	1後	2				1	1		1 2 1 2			助教から講師に昇格1名 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 教員の退職や就任による担当者見直し (27) 担当 齊藤利恵子 (助教) 平成26年 10月教員審査済 判定 可	
	基礎看護方法論 III	2前	1				0 1						准教授1名退職による担当者見直し 平成28年4月准教授1名教員審査中(28)	
	基礎看護方法論 IV	2前	1				1 2	1		1 2			准教授1名退職 助教から講師に昇格1名(28) 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 教員の退職や就任による担当者見直し (27) 担当 齊藤利恵子 (助教) 平成26年 10月教員審査済 判定 可	
	ヘルスアセスメント	1後	1				1 2	1		1 2 1 2			准教授1名退職 助教から講師に昇格1名(28) 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 教員の退職や就任による担当者見直し (27) 担当 齊藤利恵 子(助教) 平成26 年10月教員審査済 判 定 可 助教 1名就任辞退(26)	
	人間関係論	1前	1					1	1					助教から講師に昇格(28)

看護専門科目群	看護専門分野 I	基礎看護学	基礎看護学実習 I	1通	1			5 4	6 7	2 1 2 3	6 4 5	9 5 4 5	<p>准教授1名退職 助教から講師に昇格1名、助教1名採用 (28) 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 担当 島田葉子(助教) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 教員の就任辞退、認可時の欠員補充や就任による担当者見直し(27) 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定 可 担当 齊藤利恵子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定 可 担当 宮武陽子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定 可 担当 渡邊いよ子 平成27年2月教員審査済 判定 可 講師1名・助教1名就任辞退(26) 助手1名就任辞退(26)</p>	
			基礎看護学実習 II	2前	2			5 4	6 7	2 1 2 3	6 5	9 5 5	<p>准教授1名退職 助教から講師に昇格1名、助教1名採用 (28) 担当 富山美佳子(講師) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 担当 島田葉子(助教) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 教員の就任辞退、認可時の欠員補充や就任による担当者見直し(27) 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定 可 担当 齊藤利恵子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定 可 担当 宮武陽子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定 可 担当 渡邊いよ子 平成27年2月教員審査済 判定 可 講師1名・助教1名就任辞退(26) 助手1名就任辞退(26)</p>	
			小計(9科目)	-	13	0	0	5 4	6 7	2 1 2 3	6 4 5	9 5 5	0	
看護専門科目群	看護専門分野 II	成人看護学	成人看護学概論	1後	2				1					<p>認可時の欠員補充(27) 担当 宮武陽子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定 可</p> <p>兼1 認可時の欠員補充(28) 担当 宮武陽子(助教) 平成26年10月教員審査済 判定 可</p>
			成人看護方法論 I	2前	1				1		1			
			成人看護方法論 II	2前	1					1		1		
			成人看護方法論 III	2後	1					2	1	2 1		
			がん看護論	4後		1				1				
			クリティカルケア論	4後		1				1				
			リハビリテーション看護論	4前		1								
			成人看護学実習 I	3通	3					1	1	2 1	6	
			成人看護学実習 II	3通	3					1	1	2 1	4	

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
看護専門分野Ⅱ	老年看護学	老年看護学概論	1後	2			2						科目強化のため専任教員を追加(27) 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定 可 科目強化のため専任教員を追加(27) 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定 可 科目強化のため専任教員を追加(27) 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定 可 准教授1名退職(28) 教員の就任辞退による担当者の見直し 担当 櫻井清美(教授) 平成26年8月教員審査済 判定 可 講師1名就任辞退(27) 助教1名採用(28) 担当 島田葉子(助教) 平成27年7月 教員審査済 判定 可 助教1名依願退職・教授1名欠員補充(27) 担当 山下美根子(教授) 平成26年10月教員審査済 判定 可 担当者依願退職による教授1名補充(28) 担当 山下美根子(教授) 平成27年7月教員審査済 判定 可 担当者依願退職(27) 「平成27年6月 提出予定」
		老年看護方法論Ⅰ	2前	1			2						
		老年看護方法論Ⅱ	2前	1			2			1			
		老年看護学実習	3通	4			3	1	1	2	2		
	小児看護学	小児看護学概論	2前	2				1					
		小児看護方法論Ⅰ	2後	1			1						
		小児看護方法論Ⅱ	2後	1				1	0				
		小児看護学実習	3通	2			1	1	0		1		
	母性看護学	母性看護学概論	2前	2			1						
		母性看護方法論Ⅰ	2後	1			1			1			
		母性看護方法論Ⅱ	2後	1			1			1			
		母性看護学実習	3通	2			1			1	3		
	精神看護学	精神看護学概論	2前	2			1			0			
		精神看護方法論Ⅰ	2後	1			1			0			
		精神看護方法論Ⅱ	2後	1			1			0			
		精神看護学実習	3通	2			1			0	2		
看護専門科目群	小計(25科目)	—	26	0	0	6	4	1	4	9	兼1		
看護の統合と実践分野	在宅看護論	在宅看護概論	2前	2			1					兼1 兼3 兼1 ※演習 科目強化のため教員補充(28) 認可時の欠員補充(27) 担当 渡邉いよ子(助教) 平成27年2月教員審査済 判定 可 認可時の欠員補充(27) 担当 渡邉いよ子(助教) 平成27年2月教員審査済 判定 可 兼1 兼1 兼1 講師1名就任辞退による欠員補充(27) 担当 渡邉いよ子(助教) 平成27年2月教員審査済 判定 可 講師1名就任辞退による欠員補充(28) 担当 渡邉いよ子(助教) 平成27年2月教員審査済 判定 可 兼2 兼1 科目強化のため教員補充(28) 科目強化のため担当教員補充(28) 平成26年8月・10月教員審査済 判定可 オムニバス 科目内容変更の為平成28年4月教員審査中(28)	
		在宅看護方法論Ⅰ	2後	1				1					
		在宅看護方法論Ⅱ	2後	1				1					
		家族看護論	3後	1			1						
		在宅看護論実習	3通	2			1	2	1	2	1		
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2				1					
		健康教育相談論	2後	2									
		健康相談活動の理論と演習	3後		2								
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	2前		1			1		1			
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	2後		1			1		1			
		学校保健	2後		2								
		養護概説	3前		2								
		産業保健	2後		1								
	統合領域	地域ケアシステム論	2後	1					0	1			
		公衆衛生看護管理論	3前		1			1					
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2			1	0	1	1		
公衆衛生看護学実習Ⅱ		4前		3			1	1		1			
看護倫理		3前	1										
看護管理と継続教育		4前	2			1							
看護研究		3後	1			6	3						
医療と安全管理Ⅰ	2前	1			1								
医療と安全管理Ⅱ	4前	1			1								
統合実習	4後	2			4	7	3	5	9				

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護専門科目群	看護の統合と実践分野 特定領域	ホスピスケア論	4後	1								兼1
		感染看護特論	4後	1								兼1
		国際看護特論	4後	1								兼1
		災害看護特論	4後	1								兼1
	研究ゼミナール	看護研究ゼミナールⅠ	4前	1		4	7	2	3			兼2
		看護研究ゼミナールⅡ	4後	1		4	7	2	3			兼2
	小計(29科目)		—	11	19	0	6 4	6 7	2 3	6 5	9	兼11
合計(109科目)		—	111	42	0	7 6	6 7	2 1 2 3	6 4 5	9	兼44 兼42	

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任, 兼任の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
76	33	0	109	76	33	0	109	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

- ・ 資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし(26)					
2	該当なし(27)					
3	該当なし(28)					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし(26)					
2	該当なし(27)					
3	該当なし(28)					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし(26)
 該当なし(27)
 該当なし(28)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	共用する他の学校等の 専用は足利短期大学こ ども学科を示す。		
	校舎敷地	64,518 m ²	2,302 m ²	3,222 m ²	70,042 m ²			
	運動場用地	83,009 m ²	1,461 m ²	1,633 m ²	86,103 m ²			
	小 計	147,527 m ²	3,763 m ²	4,855 m ²	156,145 m ²			
	そ の 他	11,300 m ²	2,077 m ²	0 m ²	13,377 m ²			
	合 計	158,827 m ²	5,840 m ²	4,855 m ²	169,522 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		55,925 m ² (55,925 m ²)	3,707 m ² (3,707 m ²)	2,467 m ² (2,467 m ²)	62,099 m ² (62,099 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	8	6	5	1 6 室	0 2 室	設置申請書の基本計画 書は大学全体の数字を 記入。 訂正したものは看護学 部専用。ただし、実際 は大学全体の部分も共 用。	
		42 室	59 室	121 室	(補助職員 0人)	(補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体で調整し、看護 学部専任教員は2つの キャンパスにそれぞれ研 究室を持つこととした。 及び専任教員採用に伴う 部屋割調整による。(28)		
	看護学部看護学科			32 -34 40 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書は一部視聴覚資料 を含む数字となってい たものを訂正。 学術雑誌は再検討し増 加。 電子ジャーナルはデー タベース中に含まれる タイトル数に変更して 訂正。 視聴覚資料は再検討し 増加。 機械・器具は再検討し 増加。 図書・学術雑誌・視聴 覚資料は平成26年度増 加分。(27) 学術雑誌は見直しを 行った。(28)
	看護学部看護学科	20,850 [4,339] (18,559 [4,190]) (18,271 [4,189]) (18,133 [4,189]) (18,850 [4,139])	68 [16] (67 [10]) (110 [15]) (90 [15]) (68 [16])	14 [10] (1106 [74]) (1102 [70]) (1101 [70]) (14 [10])	870 (989) (900) (869) (790)	2044 (2052) (2024)	41 (41)	
	計	20,850 [4,339] (18,559 [4,190]) (18,271 [4,189]) (18,133 [4,189]) (18,850 [4,139])	68 [17] (67 [10]) (110 [15]) (90 [15]) (68 [17])	14 [14] (1106 [74]) (1102 [70]) (1101 [70]) (14 [14])	870 (989) (900) (869) (790)	2044 (2052) (2024)	41 (41)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	3,764 m ²		450		220,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	3,569 m ²		弓道場 302 m ²					
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	350千円	350千円	図書購入費	6,200千円	4,000千円	4,000千円
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	132,645千円	3,000千円	2,000千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,730千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	—	—	
学生納付金以外の維持方法の概要								

複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		足利工業大学						備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部 創生工学科	4	400	-	1640	学士 (工学)	0.64	平成23年度	栃木県足利市大前町268番地の1	平成26年 入学定員 変更 440人⇒400人
看護学部 看護学科	4	80	3年次 3	326	学士 (看護学)	1.02	平成26年度	栃木県足利市大前町268番地の1 栃木県足利市本城3丁目2120番地	
工学研究科 博士後期課程 情報・生産工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学 又は学術)	0.44	平成8年度	栃木県足利市大前町268番地の1	平成25年度より学生 募集停止
建設・環境工学専攻	3	2	-	6	博士 (工学 又は学術)	0	平成8年度	同上	
工学研究科修士課程 情報・生産工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.10	平成25年度	同上	
建設・環境工学専攻	2	15	-	30	修士 (工学)	0.43	平成25年度	同上	
機械工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成2年度	同上	
電気電子工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成2年度	同上	
都市環境工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成2年度	同上	
建築学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成5年度	同上	
システム情報工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成5年度	同上	
工学部 機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	昭和42年度	同上	
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	昭和42年度	同上	
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	昭和42年度	同上	
都市環境工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	昭和48年度	同上	
システム情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	昭和48年度	同上	
大学の名称		足利短期大学						備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
こども学科	2	100	-	200	短期大学士 (保育学)	0.72	昭和54年度	栃木県足利市本城3丁目2120番地	平成26年より学生 募集停止
看護学科	3	-	-	-	短期大学士 (看護学)	-	平成8年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況（抜粋）

<看護学部 看護学科>

（2）専任教員数等

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	7	3	5	21	7	6	2	6	21	7	6	3	7	23
(6)	(6)	(1)	(4)	(17)						[1]	[△1]	[0]	[2]	[2]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

6 留意事項等に対する履行状況等

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画
設置時 (26年4月)	<p>1. 看護系学部で養護教諭を養成することについての意義や特徴について、本学部学科における考えを整理し、学生が十分に理解できるようにすること。さらに、看護師・保健師・養護教諭の3つの資格取得に必要な単位数が160単位であることについて、教育の質保障の観点から、膨大な学習量が必要であることを学生に対して十分説明し、安易な履修とならないように留意すること。</p> <p>2. 教員の補充を必要とされた22授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた22授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>1年次ガイダンス時より養護教諭の資格取得についての説明を行ない、安易な履修とならないよう理解を図っている。</p> <p>平成26年度に単独で開講する科目についてはAC教員審査を受けた専任教員を配置している。</p>	<p>平成26年度に複数で担当する科目について、専任教員採用を予定している。次年度以降の開設科目についても専任教員採用を予定している。</p>
設置計画履行状況 調査時 (27年2月)	<p>1. 看護系学部で養護教諭を養成することについての意義や特徴について、本学部学科における考えを整理し、学生が十分に理解できるようにすること。さらに、看護師・保健師・養護教諭の3つの資格取得に必要な単位数が160単位であることについて、教育の質保障の観点から、膨大な学習量が必要であることを学生に対して十分説明し、安易な履修とならないように留意すること。</p> <p>2. 教員の補充を必要とされた22授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた22授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p> <p>1. 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用につとめるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>留意事項</p> <p>1年次ガイダンス時より養護教諭の資格取得についての説明を行ない、安易な履修とならないよう理解を図っている。</p> <p>平成27年度に単独で開講する科目についてはAC教員審査を受けた専任教員を配置している。</p> <p>看護人事部会を昨年設け、進行年度に合わせて教員の補強を行っている。</p> <p>改善意見</p>	<p>平成27年度に複数で担当する科目について、専任教員採用を予定している。次年度以降の開設科目についても専任教員採用を予定している。</p>

<p>設置計画履行状況 調査時 (28年2月)</p>	<p>1. 看護系学部で養護教諭を養成することについての意義や特徴について、本学部学科における考えを整理し、学生が十分に理解できるようにすること。さらに、看護師・保健師・養護教諭の3つの資格取得に必要な単位数が160単位であることについて、教育の質保障の観点から、膨大な学習量が必要であることを学生に対して十分説明し、安易な履修とならないように留意すること。</p> <p>2. 教員の補充を必要とされた22授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた22授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p>	<p>留意事項</p>	<p>引き続き、1年次ガイダンス時より養護教諭の資格取得についての説明を行ない、安易な履修とならないよう理解を図っている。</p> <p>必要な教員の確保を進めた結果、現在、未充足の科目は4年後期の「感染看護特論」となっており、今年度中に充足する予定です。</p>	<p>平成28年度中に、すべての教員補充を行うべく、候補者を調整しております。</p>
	<p>1. 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用につとめるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>看護人事部会にて、進行年度に合わせて教員の補強を行っており、昨年の教員採用数は4名でした。</p>	
	<p>1. 既設学部等（足利短期大学こども学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p>	<p>足利短期大学こども学科は学生募集活動を強化し、77名の新入生を迎え、定員充足率0.7倍を超えることができました。</p>	

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 養護教諭資格取得のための「教職に関する科目」の必修要件(26)</p> <p>養護教諭資格取得のためには「教職に関する科目」のうち必修10科目22単位が必要。</p> <p>特記事項なし(27)(28)</p>	<p>① 文部科学省教職員課の指導により授業科目1科目の追加及び1科目の変更を行う。追加の授業科目には兼任講師1名を加え、オムニバス形式とする。</p> <p>必修11科目24単位の取得が必要となる。</p> <p>学則別表の「教職に関する科目」の変更は平成26年度中に実施する。学生には影響しないが、ガイダンスで説明する。(別添1「新旧対照表」参照)</p> <p>尚、看護学部の授業科目に影響はない。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護学部教務委員会(26)(27)(28)(別添2看護学部教務委員会規程) ・ 看護学部FD委員会(27)(28)(別添3看護学部FD委員会規程) <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務委員会は月1回開催し、委員が参加する。(26)(27)(28) ・ FD委員会は、年数回開催し(不定期)、委員が参加する。(27)(28) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務委員会は、教育課程の編成に関すること。学生の履修に関すること。授業日程の編成に関すること。その他教務に関する必要な事項。(26)(27)(28) ・ FD委員会は、【別添3参照】(27)(28) <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標及び学生の履修方法についての説明会。(26)(27)(28) ・ FD研修会の実施。(28) <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設前及び授業開始前に集合して実施。(26)(27) <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ全ての教員が参加して実施。都合により参加出来なかった教員には個別に説明。(26)(27) <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設年度のため、本年度末までに改善の取組を行う。(26)(27) <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各学期終了時点で実施予定。(26) ・ 各学期末・期央において実施。(27)(28) <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務課窓口、図書館で閲覧を可能とする予定。(26) ・ 教務課窓口、図書館で閲覧を可能とした。(27)(28) ・ 教務課窓口、図書館、学内向けホームページで閲覧を可能とする。(27)(28)
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <ul style="list-style-type: none">・初年度のため、総括評価・所見は今年度が終了してからとなる。(26)・設置の趣旨・目的については、概ね達成されている。(27)(28) <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・平成27年4月 公表予定。(26)・平成27年4月 公表。(27)・平成29年4月 公表予定。(28) <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を刊行し、教職員に配布する。(26)(27)・図書館において自由に閲覧が可能とする。(26)(27)・大学ホームページ上に公開(27)・大学ホームページ上に公開予定（平成29年4月を予定）(28) <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けることが決定している。(26)・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受け、「適合」の評価を受ける。(27)
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (28 年 8 月 1 日)</p>
